

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 矢臼別演習場における誤射について (一) 事故の対応について 今ほど梅尾委員の方からお話がありました、今回の事故につきまして、先ほど時系列的に対応についてご説明がありましたけれども、しかし、事故が起きてからですね、関係機関連絡会議が開かれたのが4日後ということであるわけですね、その間にボールのやり取りがあったにしても事故があつてすぐ連絡会議を招集をして、その後の対応をどうするかということが、即座に行われなかったという訳でございますから、いかにも後手に回ったような気がいたします。このことは指摘せざるを得ないと思いますが、この対応の遅れについてのお考えをお聞きしたいと思います。</p> <p>その説明は先ほどの中でお聞きをいたしました。まず、事故が起きて何を対応するのかということですが、当然のことながら遺憾のコメントは良いんですけども、しかし、この間、関係機関連絡会議を毎年と言いますか、この実弾射撃訓練が行われるたびに開催をして、そして申し入れをしてきているわけですよ。そして今回事故が起きたわけですから、当然のことながら、早い段階でのこの連絡会議を開催をして、それぞれの自治体の意見を調整をしてですね、対応していくべきではないかと。それが4日後になったということについてはですね、これはかなり後手に回ったのではないかと私の思いがあるわけです。先ほど言ったようにボールのやり取りは結構ですけども、しかし、道としてですね、窓口は道ですから、きちっとですね早め早めに対応していくこと、このことが大切なんだろうと思うわけでございます、そのことは指摘しておきたいと思えます。</p> <p>(二) 夜間訓練について それからですね、早速15日から夜間の実弾射撃訓練も行われたわけでございます。これは、本当に住民感情を逆なでするものだというふうに思うわけございまして、この間、矢臼別演習場におけます夜間の実弾射撃訓練につきまして、自治体から国に対しまして、行わないように要請をしていたはずでございます。しかし、この間、この要請を全く無視をして夜間訓練が行われているところであります。これは、沖縄のですね、オスプレイの夜間訓練同様、米軍は、地元の意向は聞き置く程度ということですね、全く要請しても効果がないというふうに思うわけございまして、このことは今後も実行のある取り組みをしていかなければならないと思えますが、知事も、これは2年前ですか、3年前にありませんか、コメントでですね、このことについて要請もすると言っている訳でございます。公然と行われる夜間射撃訓練、実射訓練ですけども、道は今後、国や米軍に対してどのように対応していくのかお聞かせをお願いしたいと思います。</p>	<p>(危機対策課長) 演習場外への着弾事故に対する対応についてでございますが、道におきましては、6月11日に北海道防衛局からの事故発生報告を受けまして、同日、「誠に遺憾である」との知事のコメントを発表いたしますとともに、矢臼別演習場関係機関連絡会議の関係4町と調整を開始をいたしました。翌12日に当連絡会議といたしまして北海道防衛局長に対し、徹底した原因の究明と再発防止策を講ずるよう、要請を行ったところでございます。</p> <p>また、6月13日には、北海道防衛局から事故の原因及び再発防止策についての連絡がございましたが、道として、「提示された再発防止策では不十分である」との考えを示すとともに、今後の対応を協議するため、連絡会議の早期開催に向けて日程の調整をしていたところでございます。</p> <p>道といたしましては、国において、しっかりと地元の意見を踏まえて対応していただけるものと考えていたところでございますが、6月14日夕方、急きょ防衛局から、追加の安全策を講じた上で、15日以降訓練を再開する旨の連絡がございましたことから、翌6月15日午前「矢臼別演習場関係機関連絡会議」を現地において開催をしたところでございます。</p> <p>(危機対策課長) 夜間の実弾射撃訓練についてでございますが、演習場の周辺は、早朝から営農活動が行われる地域でありますことから、夜間の射撃訓練は、地域住民の就寝等の妨げになるため、これを行わないこと、また、実施する場合であっても、短日数、短時間とし、自衛隊の訓練同様、午後9時30分には終えるよう「矢臼別演習場関係機関連絡会議」として既に要請を行っているところでございます。</p> <p>今後とも、こうした地元の意向が訓練に反映されますよう国に対し粘り強く働きかけてまいる考えでございます。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(三) 人為的ミスについて 国の方に粘り強く訴えていただくのは結構ですが、中々その実効が表れていないというのが、沖縄を見ててもそうですし、矢白別もそのような状況になってしまっているのではないかとこのように思うわけでございます。 これまでですね、矢白別の実射射撃訓練におきまして、着弾地や着弾地以外での幾度となく繰り返されてきた火災です。これは3年前には40ヘクタールを消失する最大規模の火災も発生させてきたわけでございますけれども、地元の住民としては、この実射射撃訓練が行われている間、気が休まる時はないというふうに思うわけでございます。 今回の事故につきましてですね、人為的ミスということでございますが、これは、人が行う所作には必ずミスがあるわけでございます。ミスの回避を重ねたところで、絶対ということはありません、ということはお存じのとおりでございます。この人為的なミスを回避するというところで、今、米軍から追加の措置も来たわけでございますけれども、絶対はあり得ないと思っておりますが、このことについての認識をお伺いします。</p> <p>多重チェックは大事ですけれども、しかしこの以前起きた火災の事故をどのように教訓とされているのか、今回の着弾をどういうふうにしてそのことをとらえていくのか。これは、人的ミスというのは起こりうる事ですから、起きたときにどういうふうに対応していくのかというのは学習能力を持たなければならないわけですし、先ほど申し上げたとおり様々な対応が少し遅くなってきているということは、全く今まで起きた様々な事が皆さんの中できちっと噛み砕けていけなかったんじゃないかと思うわけでございまして、そのことはきちっと対応していかなければならない、人為的ミスは起こりうる、起きた時にはどう対応するのかということをお伺いしたいと思っております。</p>	<p>(危機対策局長) 演習場外への着弾事故の原因についてでありますけれども、今回の事故原因につきましては、北海道防衛局から、照準手の操作誤り、砲班長の点検不十分といった人為的なミスが重なり発生したものと説明を受けているところでございます。 委員のご指摘のとおり、人為的なミスは常におこりうることでありますので、ミスが発生することを前提とした多重チェックなどの対応に不断に取り組むことが重要であるというふうに考えております。</p>
<p>(四) 国道の通行止めについて この度の誤射で、国道272号線から約700mの所で着弾したということであり、炸裂もしたということですから大変危険な状況であったと思うわけです。 国道272号線は、それほど車の交通が激しい所ではないと思っておりますが、しかし、車が経済道路として基幹道路として使用されているわけですから、ここにもしもの事があれば大変なことになるということになるわけでございまして、実射射撃訓練中の通行止めについても検討される旨お話があるようでございますけれども、逆に止めてしまうことによって生活に大きな影響を来すことになるわけでございます。代替え道路についても検討しなければならないことになるわけでございますけれども、どのように検討されるのかお聞きしたいと思います。</p> <p>あの、全て国に対策を求めていくということで、お話がありますけど、じゃあ北海道として対策は何も組まないということなんですかね。これは実射射撃訓練を受けている北海道として、全てのことは国がやるべきであって、全てのことは国にお願いをするということだけで果たして良いのだろうか。北海道として何をやるのか、このことは非常に欠落していると今のやりとりで思うわけでありますけれども、北海道は単に国防省に物を言うだけ、国に物を言うだけ、それだけでですか。北海道としてこういうことをやって行こうということは全く想定はしていないのですか。</p>	<p>(危機対策課長) 演習場に隣接します国道についてでございますが、この度の訓練にしましては、「矢白別演習場関係機関連絡会議」といたしまして国に対しまして、米軍の示した再発防止策の確実な履行と国の責任において万全の対策を講じることを強く求めているところでございます。 隣接する国道も含めまして、矢白別演習場周辺の安全確保につきましては、国において対策が講じられるべきものと考えてございまして、道といたしましては、地元4町とも協議の上、国に対し、この度示されました再発防止策について十分な検証を行い、どのような措置が適切なのか検討を求めている考えでございます。</p> <p>(危機対策局長) 道としての対応についてでございますけれども、米軍の施設使用等につきましては、一義的には国の対応というふうにご覧になってございまして、米軍との協定当事者である国におきまして本件に関する地元の意向を米軍に対し、しっかりと伝えていただくよう要請してまいる考えであります。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(五) 抗議について 全て国、国ということで北海道として何かやるということではないという気がするわけでございます。主体性が少し欠けているのではないかと気がするわけでございます。 先ほども申し上げましたけども、知事は、防衛省へ出向くようでございますけども、地元の思いを伝えるようでございますが、当該事故の現地知事として、米大使館についても強く抗議すると共に訓練の中止を申し入れるべきものと考えますが、危機管理監のご見解をお聞きしたいと思います。</p> <p>国の所管ということで、日米地位協定や安保条約があるということですが、地元の自治体として一言もそのことに対して言えないということはないだろうと思うわけです。 ましてや、アメリカは民主主義の国ですから、当該自治体のそこに住んでいる方々の思いというのは重く受け止めるべきだと思いますし、そういう国柄だと思うわけです。 沖縄の所を見ていると沖縄県知事は普天間の移転についてもかなり大きな発言をしていると思うわけでございますし、しかし一方で実弾射撃場を持つ北海道の知事が全て国へということでアメリカに対して何も物を言わないということはいかかかなものかと思うわけでございまして、少なくともこういう事故があったからには今年には中止をして、また来年以降仕切り直しをするということぐらいは要請しても構わないのではないかとというふうな気がする訳でございます。</p>	<p>(危機管理監) 演習場外への着弾に関する申し入れについてでございますが、矢臼別演習場におけます米海兵隊の実弾射撃訓練を含む、日本国内におけます米軍の演習等につきましては、米国の条約等に基づくものでありまして、国の所管事項でございます。したがって、今後とも国に対し、地元関係4町と充分協議を重ねた上で、地元の意向を、しっかりと伝えていくことが重要であると考えています。</p>
<p>(六) 知事へのアドバイスについて 当日、連絡会議が開かれた当日です、高橋はるみ知事は、道南の方で、仮称函館駅の安全祈願祭、立柱式に参加をされておりました。担当は荒川副知事だということは私も承知をしておりますが、道の危機管理という、この一つのものとのらえ方がどうなっているのかなと思うわけでございまして、今回のやつも、これは追加の安全策を講じてすぐに再開をするという通告があって、15日は、先ほどお話があったように連絡会議があった後、すぐに11時過ぎに訓練が再開をされているという状況の中で、知事は函館の方にいらっしゃったということは、確かに連絡は取れるかもしれませんが、そういう問題ではないだろうという気がするわけでございまして、これは、道東の皆さんの安全はあまり考えていなかったのか、新幹線の安全祈願だけが大事だったのか、皮肉を言うつもりはありませんけれどもですね、今回の取り扱い、今後でもですね、大きな災害だけではなくて、この様に住民を脅かす課題が出てくるだろうというふうに想定はされますから、それらの時に道の危機管理としてどういうふうにあるべきかと、危機管理監として、知事とどのようにこの問題について話し合われているのかお聞きをしたいと思っております。</p> <p>様々な公的な行事が重なる場合はあると思いますが、何が大事で代理を出席をさせることが可能な行事もあるわけですから、そのようなことも十分加味していかなければ、道民全体が知事に対して少し不審に思うということになるわけでございますから、そのところは十分ですね、危機管理監としでもですね、知事の方にそういう話をさせていただきたいものだと思うわけでございます。</p> <p>これは、今回の事故がありましたけれどもですね、この事故によって地元がどういうふうにかというの的に伝えていかないとまずい、演習に対してのハードルを高くしていかなければ、早い段階で別の地域に移ってくれなんていう話をしているようですけども、これは未来永劫ですね、このまま矢臼別で行われていくという可能性が非常に高いわけ</p>	<p>(危機管理監) 矢臼別演習場関係機関連絡会議等への対応についてでございますが、6月14日の夕方、北海道防衛局から連絡がありました矢臼別演習場におけます実弾射撃訓練の再開などについての対応を協議するため、道と関係4町で構成いたします「矢臼別演習場関係機関連絡会議」を14日の翌15日午前11時に別海町において開催したところでございます。 この会議は、道の副知事が招集し、座長を務めることとなっておりますので、担当の副知事が会に出席し、座長として地元4町のご意見を伺い、対応を取りまとめますとともに、北海道防衛局長に対して緊急要請を行ったところでございます。 当日、知事に対しましては、連絡会議の内容や現地の状況につきまして、副知事と私から逐次報告いたしますとともに同日18時に記者会見を札幌で行いまして、本件に対する知事としての考えなどを、道民の皆様にお伝えしたところでございます。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>でございますから、一つ一つですねハードルを高くしていくということが大事と思うわけでありまして、安保条約や地位協定と聞いていますけれども、アメリカが地位協定を結ぶのは日本だけではないわけです。各国と結んでいるわけですね。それぞれの各国の地位協定と日本の地位協定の違いをですね、皆さんもご存じだと思いますが、少なくともこういう事故があった場合は、地位協定の見直し、改善についてもですね、道としても求めていくべきではないかと思うわけでありまして。そのことを最後に要請いたしまして質問を終わります。</p>	